

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公表番号】特表2003-508101(P2003-508101A)

【公表日】平成15年3月4日(2003.3.4)

【出願番号】特願2001-519794(P2001-519794)

【国際特許分類】

A 4 6 D 1/08 (2006.01)

【F I】

A 4 6 D 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月21日(2007.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)複数のオス部品を含む第1要素と、

(b)前記オス部品を受けるサイズを有する複数のメス部品を含む第2要素とを含み、前記第1要素と第2要素は開放位置から閉鎖位置まで可動であり、

ここに前記第1要素と第2要素が閉鎖位置にある時、前記オス部品が前記メス部品と係合し、また、

前記第1要素と第2要素が閉鎖位置にある時、前記の各オス部品と前記の各メス部品が複数の剛毛を相互に固定関係に保持することができることを特徴とするグリッパ。

【請求項2】

前記メス部品または前記オス部品の少なくとも一つがバネ弾発されていることを特徴とする請求項1に記載のグリッパ。

【請求項3】

さらに、1つの前記メス部品または前記オス部品を他の前記メス部品または前記オス部品に向かって片寄せさせる手段を含むことを特徴とする請求項1に記載のグリッパ。

【請求項4】

前記メス部品が前記第2要素から着脱自在であることを特徴とする請求項1に記載のグリッパ。

【請求項5】

前記オス部品が前記第1要素から着脱自在であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のグリッパ。

【請求項6】

前記グリッパに連結されたトランスポートであって、前記グリッパを第1位置から第2位置まで移動させることができるトランスポートをさらに含むことを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載のグリッパ。

【請求項7】

前記メス部品は、第1側壁、第2側壁、および前記第1側壁と前記第2側壁との間に配置されたシートによって画成された凹部を含むことを特徴とする請求項1に記載のグリッパ。

【請求項8】

前記第1側壁はテーパ面を含むことを特徴とする請求項7に記載のグリッパ。

【請求項 9】

前記第 2 側壁はテーパ面を含むことを特徴とする請求項 8 に記載のグリッパ。

【請求項 10】

前記オス部品はフィンガーを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のグリッパ。

【請求項 11】

前記オス部品はフィンガーを含み、前記フィンガーから第 1 案内部材が延在し、また前記フィンガーから第 2 案内部材が延在することを特徴とする請求項 1 に記載のグリッパ。

【請求項 12】

前記グリッパが自動化されていることを特徴とする請求項 1 に記載のグリッパ。

【請求項 13】

前記のオス部品と前記のメス部品は 2 つの未融着端部を有する複数の剛毛ふさを相互に固定関係に保持することができることを特徴とする請求項 1 に記載のグリッパ。

【請求項 14】

前記の剛毛ふさが 1 つの融着端部を有する場合に前記オス部品と前記のメス部品が前記の剛毛ふさを相互に固定関係に保持することができることを特徴とする請求項 1 に記載のグリッパ。